# バス事業のあり方検討会(第6回)

日 時:平成23年 4月25日(月)

10:00~12:00

場 所:合同庁舎第7号館

9階共用会議室1

## 議 事 次 第

- 1. 開 会
- 2.中間報告骨子案について
- 3. 質疑
- 4. 今後のスケジュールについて
- 5. その他
- 6.閉 会

#### 配布資料

- ·資料1 検討会委員名簿
  - 第6回検討会出席者名簿
- ・資料2 配席図
- ・資料3 東日本大震災時における高速バスの対応状況について
- ・資料4 高速バスにおけるインターネット予約サイトについて
- ・資料5 高速バス利用者の属性と意識について
- ・資料6 貸切バス事業者重点監査結果
- ・資料7 高速乗合バス「運行委託」モデル(案)
- ・資料8 「バス事業のあり方検討会」中間報告(骨子)
- ・資料9 今後のスケジュール(案)

## バス事業のあり方検討会委員

学識経験者 竹内 健蔵 東京女子大学教授

若林亜理砂 駒澤大学教授

加藤 博和 名古屋大学准教授

有 識 者 秋池 玲子 ボストンコンサルティンググループパートナー

&ディレクター

和田由貴夫 バスラマ・インターナショナル編集長

業界関係者 小田 征一 (社)日本バス協会理事・高速バス委員長

(京成バス(株)代表取締役会長)

富田 浩安 (社)日本バス協会理事・貸切委員長

(日の丸自動車興業(株)代表取締役社長)

上杉 雅彦 (社)日本バス協会理事・地方交通委員長

(神姫バス(株)代表取締役社長)

興津 泰則 (社)日本旅行業協会国内・訪日旅行業務部長

島﨑 有平 (社)全国旅行業協会専務理事

村瀬 茂高 高速ツアーバス連絡協議会会長

(WILLER TRAVEL(株)代表取締役)

成定 竜一 高速ツアーバス連絡協議会事務局長

佃 栄一 日本鉄道労働組合連合会自動車連絡会代表幹事

鎌田 佳伸 全国交通運輸労働組合総連合

軌道・バス部会事務局長

清水 昭男 日本私鉄労働組合総連合会交通政策局長

行政関係者 門野 秀行 国土交通省大臣官房審議官(自動車交通局)

加藤 隆司 国土交通省自動車交通局総務課長

渡辺 秀樹 国土交通省自動車交通局安全政策課長

舩曳 義郎 国土交通省自動車交通局旅客課長

廣瀬 正順 国土交通省自動車交通局旅客課

新輸送サービス対策室長

小林 豊 関東運輸局自動車交通部長

鈴木 昭久 観光庁観光産業課長

入谷 誠 警察庁交通局交通企画課長

(順不同、敬称略)

#### バス事業のあり方検討会(第6回出席者)

#### 【委員】

竹内 健蔵 東京女子大学教授

若林亜理砂 駒澤大学教授

加藤 博和 名古屋大学准教授

秋池 玲子 ボストンコンサルティンググループパートナー&ディレクター

和田由貴夫 バスラマ・インターナショナル編集長

小田 征一 (社)日本バス協会理事・高速バス委員長(京成バス㈱代表取締役会長)

富田 浩安 (社)日本バス協会理事・貸切委員長(日の丸自動車興業㈱代表取締役社長)

上杉 雅彦 (社)日本バス協会理事・地方交通委員長(神姫バス㈱代表取締役社長)

興津 泰則 (社)日本旅行業協会国内・訪日旅行業務部長

村瀬 茂高 高速ツアーバス連絡協議会会長(WILLER TRAVEL(株)代表取締役)

成定 竜一 高速ツアーバス連絡協議会事務局長

鎌田 佳伸 全国交通運輸労働組合総連合(交通労連)軌道・バス部会事務局長

清水 昭男 日本私鉄労働組合総連合会交通政策局長

佃 栄一 日本鉄道労働組合連合会(JR連合)自動車連絡会代表幹事

門野 秀行 国土交通省大臣官房審議官(自動車交通局)

加藤 降司 国土交通省自動車交通局総務課長

渡辺 秀樹 国土交通省自動車交通局安全政策課長

舩曳 義郎 国土交通省自動車交通局旅客課長

廣瀬 正順 国土交通省自動車交通局旅客課新輸送サービス対策室長

鈴木 昭久 観光庁観光産業課長

中村振一郎 警察庁交通局交通企画課課長補佐【入谷委員代理】

#### 【事務局】

谷口 礼史 国土交通省自動車交通局旅客課バス産業活性化対策室長

曽根 辰美 国土交通省自動車交通局旅客課新輸送サービス対策室専門官

石嶋 隆之 国土交通省自動車交通局旅客課専門官

鈴木 充生 国土交通省自動車交通局旅客課新輸送サービス対策室係長

滝澤 朗 国土交通省自動車交通局旅客課係長

益森 芳成 社会システム(株)社会経済部企画調査室長

(順不同、敬称略)

# バス事業のあり方検討会(第6回)配席図

< 合同庁舎第7号館(金融庁) 9階 共用会議室1(903) >

		小林 部長 自動車交通部 関東運輸局	観光庁 課長	(入谷委員代理)中村 課長補佐警察庁交通局交通企画課	佃 代表幹事 自動車連絡会 J R 連合	清水 局長 交通政策局	鎌田 事務局長軌道・バス部会交通労連	
自動車交通局旅客課 新輸送サービス対策室 廣瀬 室長	_							日本バス協会 地方交通委員会 上杉 委員長
自動車交通局 安全政策課 渡辺 課長								日本バス協会 貸切委員会 富田 委員長
自動車交通局 総務課 加藤 課長								日本バス協会 高速バス委員会 小田 委員長
自動車交通局 門野 審議官								駒澤大学 若林 教授
自動車交通局 旅客課 舩曳 課長								東京女子大学 竹内 教授
自動車交通局旅客課 バス産業活性化対策室 谷口 室長								名古屋大学 加藤 准教授
自動車交通局旅客課 新輸送サービス対策室 曽根 専門官								バスラマ・ インターナショナル 和田 編集長
自動車交通局旅客課 新輸送サービス対策室 鈴木 係長	(事 務 局							ボストンコンサルティング
自動車交通局旅客課 石嶋 専門官	)	(事:	務局)					がループ 秋池 パートナー& ディレクター
		一 滝澤 一 孫 同	社会システム株		成定 事務局長高速ツアー バス連絡協議会	村瀬 会長 ボス連絡協議会	興津 部長 国内·訪日旅行業務部 日本旅行業協会	•

# 東日本大震災時における高速バスの対応状況について

# 東北地方を発着する高速バスの運行再開・新設状況

動車交通 平成23年4月11日 1 4 時 0 0 分 現 在

- H23.3.11 午後2時46分、地震発生
- H23.3.12 酒田-東京、秋田-新宿便、関越道迂回により運行
- H23.3.14 「高速バス事業者等に対する緊急通行車両確認標章の交付について」(警察庁交通企画課長、交通規 制課長通知)
- H23.3.14 仙台-山形便(宮城交通、山形交通)、仙台-新潟便(JRバス東北他)運行再開
- H23.3.16 仙台-新宿便運行再開(JRバス東北)、標章を取得し東北道を走行して運行



# 東北地方を発着する高速バスの運行状況(4月19日)

# ①首都圏~東北方面

	地震前	現在	割合
路線数	30 路線	31 路線	103%
運行回数	66 往復	81.5 往復	123%
使用台数(片道/1日)	66 台	152.5 台	231%
輸送力(※)	1,980 人	5,295 人	267%

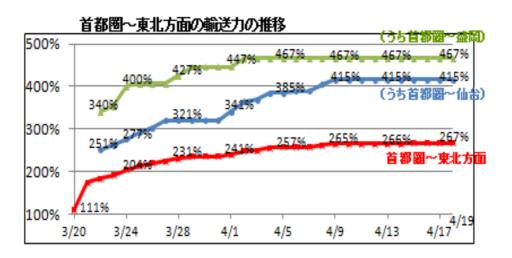
# ②首都圏~仙台(①首都圏~東北方面の内数)

	地震前	現在	割合
路線数	7 路線	8 路線	114%
運行回数	13 往復	20.5 往復	158%
使用台数(片道/1日)	13 台	43.5 台	335%
輸送力(※)	390 人	1,620 人	415%

# ③首都圏~盛岡(①首都圏~東北方面の内数)

	地震前	現在	割合
路線数	3 路線	3 路線	100%
運行回数	5 往復	6 往復	120%
使用台数(片道/1日)	5 台	22 台	440%
輸送力(※)	150 人	700 人	467%

※地震前の輸送力は、3列シート高速バス車両であるため、座席数30席で計算。 現在はこれに加え、子会社の貸切バスなども使用している実態を反映した実績値。 ※現在は4月19日までの最高値で計算(新設路線を含む)。



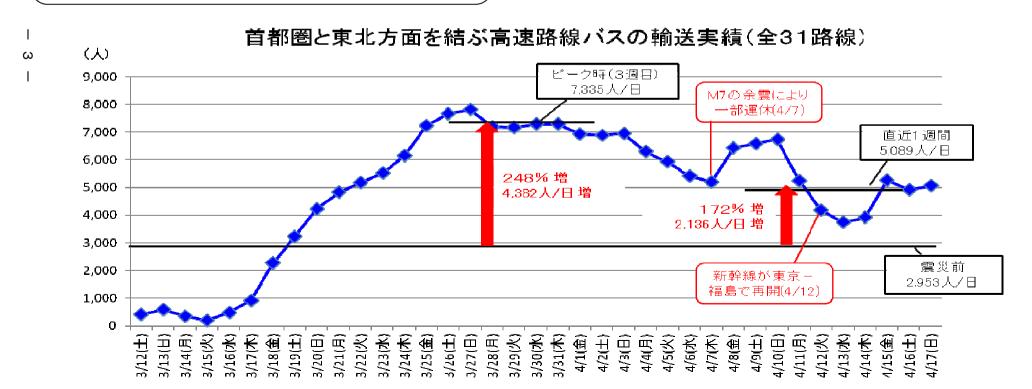
# 首都圏と東北地方を結ぶ高速路線バスの輸送実績 (東日本大震災関連)

- 首都圏と東北地方を結ぶ高速路線バスは、東日本 大震災により被災した東北新幹線等の代替交通機関 として、被災関係者の輸送に重要な役割を果たしてい る。
- 〇 震災後、高速路線バス事業各者は、31路線の運行を順次再開・新設するとともに、続行便の増発による輸送力の増強を図り、震災後約5週間で延べ6,400台の車両を投入し、18万人を輸送している。

#### 首都圏と東北地方を結ぶ高速路線バスの輸送実績

(単位:人)

方面別	路線数	1週目 3/12~ 3/18	2週目 3/19~ 3/25	3週目 3/26~ 4/1	4週目 4/2~4/8	5週目 4/9~ 4/15	4/16、 4/17	合計
仙台便	8路線	1,705	9,918	12,845	12,580	10,896	2,694	50,638
盛岡便	4路線	231	6,520	8,788	6,260	5,760	1,602	29,161
福島便	3路線	763	10,218	11,630	9,994	6,634	1,783	41,022
その他	16路線	2,478	9,671	18,081	14,263	12,334	3,898	60,725
計	31路線	5,177	36,327	51,344	43,097	35,624	9,977	181,546



# 首都圏と東北地方を結ぶ高速路線バスにおける管理の受委託の活用状況 (東日本大震災関連)

- 〇 国土交通省は、高速路線バス事業者が他者の車両を活用して輸送力の増強を図ることができるよう、3月16日付けで管理の受委託の弾力的な運用に係る通達「東北地方太平洋沖地震を踏まえた高速バスの輸送力確保のための緊急対応について」を発出した。
- これにより、仙台便を運行する事業者のうち2者が、盛岡便を運行する事業者のうち3者がそれぞれ他者の車両を活用した管理の受委託による輸送力の増強を図っている。

## <震災後5週間の投入車両数(延べ車両数)>

(単位:台)

		1週目 (3/12 ~3/18)	2週目 (3/19~ 3/25)	3週目 (3/25~ 4/1)	4週目 (4/2~ 4/8)	5週目 (4/9~ 4/15)	合	計
仙	自社車両	8	233	375	337	346	1,299	89%
台便	他社車両	0	41	63	40	23	167	11%
(8路線	合計	8	274	438	377	369	1,46	66

( 1884	V	٠	=
\ <del>-</del>	<u>.,</u>		

							\ 1	<u> </u>
		1週目 (3/12 ~3/18)	2週目 (3/19~ 3/25)	3週目 (3/25 <b>~</b> 4/1)	4週目 (4/2~ 4/8)	5週目 (4/9~ 4/15)	仁	計
盛	自社車両	4	178	294	301	245	1,022	95%
田 便	他社車両	0	10	16	14	13	53	5%
(7 4 ) 者線	合計	4	188	310	315	258	1,07	75

(単位:台)

		1週目	2週目	3週目	4週目	5週目	合	計
	自社車両	2	21	9	17	21	70	64%
A 社	a社	0	3	7	5	0	15	14%
14	b社	0	4	12	6	3	25	23%
	自社車両	0	14	16	13	7	50	28%
B 社	c社	0	31	33	20	14	98	55%
社	d社	0	3	5	7	0	15	8%
	e社	0	0	6	2	6	14	8%

(単位:台)

			1週目	2週目	3週目	4週目	5週目	合	計
	С	自社車両	2	16	20	15	18	71	80%
	C 社	f社	0	10	7	1	0	18	20%
		自社車両	0	17	24	31	27	99	75%
,	D 社	g社	0	0	7	13	6	26	20%
	į	h社	0	0	0	0	7	7	5%
	E	自社車両	0	41	39	11	9	100	98%
	E 社	i社	0	0	2	0	0	2	2%

資料4

# 高速バスにおけるインターネット予約サイトについて

# 「発車オーライネット」における4月2日~10日のA社の空席照会画面

(前台級東口42番祭) 出発日4 ・月 1 - 日 | 文名用音 | [工下便明確] 【他台駅東口42個党】出発日4 · 月 3 · 日 [草原原食] [上下亞切得] [结合职业D47委员] 出発日本 - 月 + - 日 [宣音标章] [上下級問題] A標準方面を変更される場合は上下侵切替ボタンを押してくださいA ▲禁車方面を変更される場合は上下便切替ボタンを押してください▲ A集単方法を変更される場合は上下限切替ボタンを押してくださいA 2011年 04月02日(土) 特合原夏口42号条→新宿駅新宿口料金 2011年 04月03日(日) 债合职项口42带件。新商职股份市口行金 2011年 04月04日(月) 執合収度口収蓄免金新宿駅新南口行き 西発地 | 発時刻| 到着地 | 着時割|空窓|トイレ| 選択 | 保考| |使名| 出発地 |発時刻| 對着地 |着時刻|窒息|トイレ| 選択 | 備考 出発地 【発幹詞】 到着地 | 首時刻|空意|トイレ| 選択 | 酵舎 0152 総台駅東口42番 00:00 新宿駅新寮口 13:30 X I 0152 | 仙台航東口42番 | 08:00 | 新宿駅新南口 | 13:30 | × | 付 0102 [位台駅東口収書] 08:00 [新宮駅新市口] 13:35 0152 仙台紀東口42首 08:00 新選別新港口 13:30 × 14 0152 仙台駅東口42番 08:00 新電駅新南口 13:30 × 0102 [仙台版東口42番] 08:00 [新宿駅新港口] 12:30 471013 471910 0152 | 仙台紀東口42器 | 08:00 | 新宿駅新南口 | 13:30 | × 0152 (协合駅東口42番 08:00 (新信駅新南口 13:30 × 0102 [仙台版東口42章] On CO [新書駅新用口] 13:30 [ × ] 0154 協合新東口42番 03:20 新宿駅新南口 14:50 × Lagrange 43190 0104 (自合原東日42番 09:20 | 新版版新出口 14:50 | × | 20100 0154 (仙台駅東口42番) 09:20 | 新宿駅新原口 | 14:50 | SHUMA 0154 [债分款東口42番] 09:20 [新羅駅新南口] 14:50 0104 [综合积束口42番] 00:20 [軟倍配動第四] 14:50 0154 | 仙台駅東口42番 09:20 | 新宿駅新幣口 14:50 | 1 0156 (協合駅東口47番 14:10 (新宿駅新南口 19:40 × ) 付 0105 社会販東口42番 14:10 [新宿駅新南口] 19:40 0158 協会駅東口42番 14:10 新容駅転南口 18:40 × 0155 | 给台級東口42番 | 14:10 | 新雅駅新港口 | 19:40 | × AMERICA 0100 社会紀東口42番 14:10 [新智期新南口] 19:40 STORES. 0156 | 仙台駅東口42番 | 14:10 | 新宿駅新開口 | 19:40 0155 仙台駅東口42番 14:10 | 新宿駅新港口 | 19:40 | × 471 TES 0100 | 设合积集口42番 | 14:10 | 新容配数周口 | 19:40 | × | 4 DI WILL 0162 (幼台駅東口42番) 23:50 [新宿駅新用口 05:30 | × | 付 0150 | 仙台駅東口42排 | 14:10 | 新宿駅新南口 | 19:40 | 2 0162 協台标東口42高 23:50 新宿駅新港口 05:30 × 1 付 451015 ones. 0162 (结合家東口42書) 23:50 (新宿駅新港口 05:30 × 付 0162 仙台駅東口42番 23:50 新電駅新開口 05:30 × 付 ◎ 空席あり O:若干の空席あり 数値:空席径か ×:清席 0162 協台原東口42番 23:50 新宿駅新南口 05:30 × 付 - 48(945 0162 | 仙台駅東口42番 23:50 | 新宿駅新南口 | 05:30 | × | 351944 ②: 空席あり 〇: 若干の空席あり 動徒: 空店借か ×: 満席 0162 | 仙台駅東口42番 23:50 | 新宿駅新南口 | 05:30 | × | 付 4리쿠티 ◎:空席あり ○:若干の空席あり 数値:空席僅か ×:満席 [仙台駅東口42番発] 出発日 4 月 7 日 「夏寒間桑」 [上下茯苓暑] 【仙台駅東口42番祭】出発日4 · 月 5 · 日 【夏三日金】 【上下夜切積】 [仙台駅東口42番発] 出発日 4 - 月 6 - 日 「京常田食」 「上下便切録」 ▲無車方面を変更される場合は上下便切積ボタンを押してください▲ ▲乗車方面を変更される場合は上下便切替ボタンを押してください▲ ▲栗事方面を変更される場合は上下便切替ボタンを押してください▲ 2011年 04月05日(火) 他台银東口42番弗 > 新宿駅館南口行き 2011年 04月07日(木) 仙台駅東口42番乗っ新宿駅新南口行き 2011年 04月06日(水) 負合駅東口42開発。新宿駅前南口行き 便名 出角地 発時刻 到着地 |着時刻|空席|トイレ|選択| 備寺 便名 出発地 [発時前] 到着地 | 静時刻|空席|トイレ| 選択 | 債券 出発地 発時割 到着地 (着時制)空ホトイレ 選択 (情考) 0102 | 伯台駅東口42番 | 08:00 | 新宿駅新棚口 | 13:30 | × | 付 0102 | 仙台駅東口42要 03:00 | 新衛駅新衛口 13:30 | × | 付 0102 [始台駅東口42番] 08:00 [新宿駅新南口] 13:30 | × | 付 | 0102 [伯台駅東口42番] 08:00 [新宿駅新州口] 13:30 | 1 | 付 0102 [仙台駅東口42票] 08:00 [新宿駅新衛口] 13:30 4717911 0102 協合駅東口42番 08:00 | 新宿駅新南口 | 13:30 | × | 付 0104 [仙台原東口42階] 09:20 [新店駅新用口 14:50 × 付 0104 [伯台原東口42番] 09:20 [鉛α駅折南口] 14:50 571943 0104 (债台駅東口42番 03:20 新宿駅新南口 14:50 × 付 afiets. 0104 [伯介原東口42番] 09:20 [新空駅新開口] 14:50 | × | 付 AFURTS 0104 協台版東口42番 09:20 「蘇森駅新市口 14:50 × 0104 [幼合駅東口42番] 09:20 [新宿駅新南口] 14:50 | × | 付 0106 仙台駅東口42番 14:10 新宿駅新開口 19:40 × 471013 0106 (价台版東口42器 14:10 (新店駅新海口 19:40 X 0106 [46台原東口42勝] 14:10 [新宿駅新南口] 19:40 × | 付 42(0)0 0106 仙台駅東口42番 14:10 「新宿駅新南口 19:40 | ARRIBAS 0106 仙台駅東口42長 14:10 新宿駅新南口 19:40 × 0108 |仙台原東口42番| 14:10 | 新宮駅新南口| 19:40 | × 4FIERS 0192 仙台原東口42件 23:50 新宿駅新南口 05:30 × ( 付 0182 仙台駅東口42番 23:50 「新宿駅新南口 05:30 1 付 530848 0162 | 仙台駅東口42番 | 23:50 | 新宿駅新南口 | 05:30 | × | 付 271015 © 空席あり O:若干の空席あり 数値:空席種か ×:満席 0182 | 仙台駅東口42番 23:50 | 新宿駅新南口 | 05:30 | O | 付 ○:空店あり O:若干の空店あり 数値:空席様か ×:湯席 ◎:空席あり 〇:若干の空度あり 敬道:空席僅か ×:追席 【伯台駅東口42番発】出発日4 ・月 \* ・日 「空馬町会」「上下便切替」 [仙台駅東口42番発] 出発日 4 · 月 10 · 日 | 空席組会 | 上下便切替 (伯台积東口42番島) 出発日 4 - 月 \* - 日 | 東草貝会 | 上下便50分 | ▲乗車方面を変更される場合は上下便切替ボタンを押してください▲ ▲最寒方面を変更される場合は上下便切替ボケンを押してください▲ ▲乗車方面を変更される場合は上下便切替ボタンを押してください▲ 2011年 04月08日(金) 债台駅東口包署外→新宿駅新南口行き 2011年 04月09日(土) 特合駅東口42番乗り新宿駅前前口行き 2011年 04月10日(日) 仙台駅東口42番発→新宿駅新南口行き 受名 出発地 発時刻 到着地 着時期定席トイレ 選択 備号 出発地 操時刻 到着地 着時間空旅トイレ 選択 借考 出発地 発時刻 到着地 着時刻空席トイレ 選択 借考 0152 仙台祭東口42時 08:00 【新宿駅新常口】13:30 】 1 】 付 0152 | 综合駅東口42番 08:00 | 新宿駅新南口 | 13:30 | × | 付 | -0152 | 仙台駅東口42番 08:00 | 新宿駅新南口 | 13:30 | × | 付 0152 他台駅東口42番 08:00 新宿駅新南口 13:30 × 付 0152 (纳合职東口42番 08:00 | 新宿駅新南口 | 13:30 | × | 0154 (統合紀東口42音) 09:20 (新密駅新南口) 14:50 × (付 0152 仙台駅東口42番 08:00 新宿駅新南口 13:30 × 0154 | 仙台駅東口42番 09:20 | 新宿駅新南口 14:50 | × | 付 0154 仙台駅東口42番 09:20 新宿駅新南口 14:50 × 付 0154 [仙台駅底口42番] 09:20 [新宿駅新南口] 14:50 | × | 付 3列車標 470035 0154 仙台駅東口42番 09:20 新宿駅新南口 14:50 0154 (伯合駅東口42番 09:20 | 新宿駅新南口 14:50 | 0156 | 仙台駅東口42番 14:10 | 新電駅新南口 19:40 471045 × t 451011 0158 | 仙台駅東口42番 | 14:10 | 新電駅新南口 | 19:40 0156 (债合駅東口42番) 14:10 (新宿駅新港口) 19:40 × ft 431933 0158 伯台駅東口42番 14:10 「新宿駅新南口 19:40 4列度額 0158 (仙台駅東口42番) 14:10 | 新宿駅新南口 19:40 0162 | 抗台駅東口42番 23:50 | 新容駅新南口 05:30 4110933 × | 11 Same. 0156 仙台駅東口42番 14:10 新宿駅新南口 19:40 47(9) 0182 (社合駅東口42番) 23:50 (新油駅新南口 05:30 × 付 0162 仙台駅東口42番 23:50 新宿駅新南口 05:30 × 付 2310 (A 0162 仙台駅東口42番 23:50 新宿駅新南口 05:30 3利申請 ◎: 空席あり ○: 若干の空窓あり 数値: 空席僅か ×: 退席 ②:空席あり 〇:若干の空底あり 穀嶺:空底僅か ×:出席 ◎:空席あり ○:若干の空席あり 数値:空席僅か ×:満席

相当期間満席が続いているため、東京へ向かうことを延期或いは諦めた人がいるのではないか。

当該サイトに加盟する高速乗合バス事業者が限られており、一覧性がないほかリンクもない。このため、高速バス全体の輸送力は 4倍以上(首都圏~仙台)増強されているにも関わらず、そのことが利用者に認識されないのではないか。

1日単位でしか空席検索ができず、一定期間の空席状況の確認に手間がかかる。

## インターネットで「高速パス」を検索すると・・・



高速乗合バスについても様々なサイトが分かれており、このため高速ツアーバスを含む他のサイトとの区別化が困難となっているのではないか。

予約サイトによって取り扱う事業者が異なり、一覧性がないため、利用者は運行事業者や予約状況等を一目で比較・把握できず、不便ではないか。

鉄道と比較して高速乗合バスを選択する新規顧客を獲得するには、バスに限らない旅行サイトも積極的に活用 するべきではないか。

# 高速ツアーバス利用者の属性と意識について

〇出 典:「高速ツアーバスの流動量調査」(国土交通省政策統括官室)

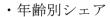
〇調査対象:東京~大阪間の高速ツアーバス利用者

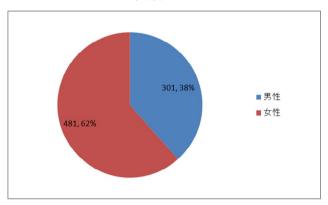
〇調査期間:平成22年11月

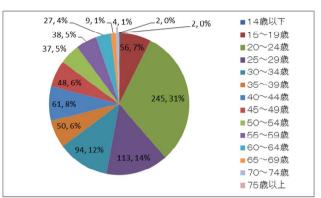
## ① 母集団全体の結果

■ 「女性」、「若者」、「学生」、「観光目的」の利用が多い。

・性別シェア

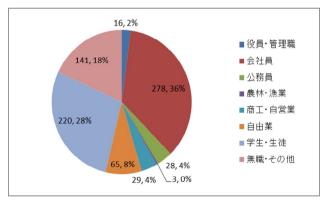


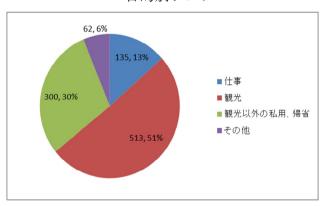




職業別シェア

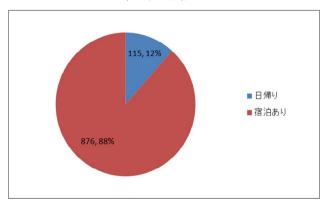
目的別シェア

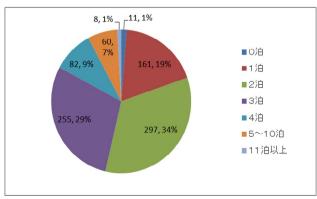




・日帰り/宿泊シェア

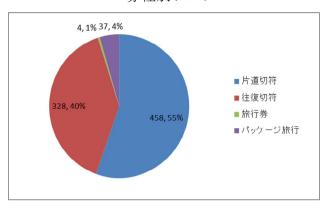
宿泊数シェア



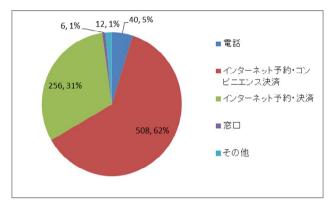


- インターネットやコンビニによる予約・決済が主流。
- ■利用者の3分の2は高速路線バスと高速ツアーバスの違いを認識せず。
- ■比較対象となった競合交通機関は、高速路線バスよりも鉄道が多い。

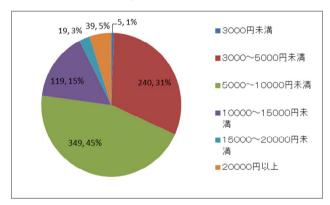
券種別シェア



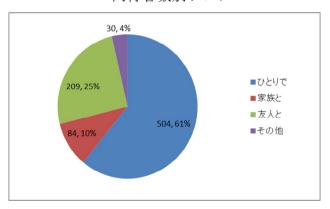
・予約方法別シェア



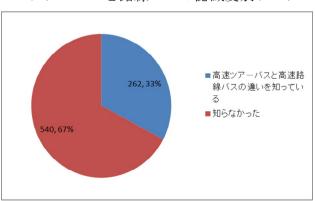
・料金別シェア



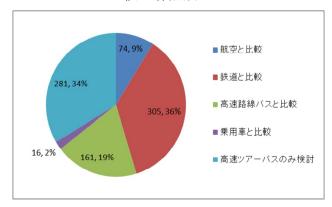
・同行者数別シェア



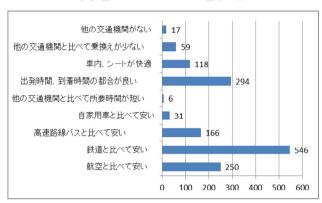
・ツアーバスと路線バスの認識度別シェア



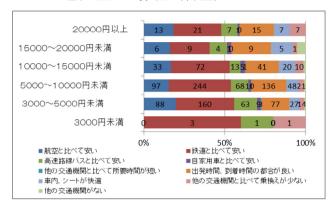
・比較の有無別シェア



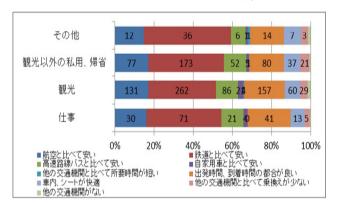
- 選択理由としては他の交通機関より安いとの回答が多い。
- 乗降場所のわかりにくさについて、約4割弱が不満と回答。
  - ・高速ツアーバスの選択理由



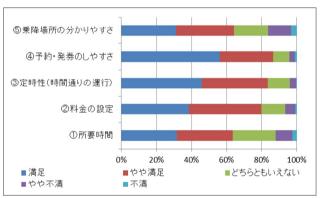
・選択理由と券種(料金)のクロス



・選択理由と目的のクロス集計



・サービスに対する満足度



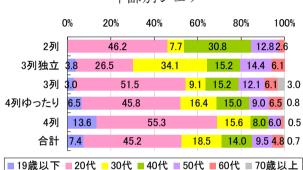
#### ②座席タイプ別の結果

#### ・ 性別シェア



■ すべての座席タイプで、女性の利用が半数 以上と多く、女性専用車のある横4列ゆっ たりの座席タイプは、約65%と女性の利用 が多い。

#### 年齢別シェア



座席タイプのグレードが低くなるにつれて、20代・30代といった若年層の利用が多く、グレードが高くなるにつれて、40代以上の中高年の割合が高くなっている。

#### 職業別シェア



■ 座席タイプのグレードが低くなるにつれて、学生・生徒の利用が多くなり、グレードが高くなるにつれて、会社員の割合が高くなっている。

#### ・目的別シェア

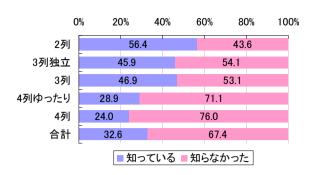


割と多いが、横3列独立や4列ゆったりでは、私用・帰省の割合が約3割と高くなっている。

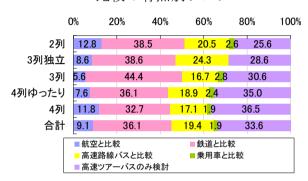
すべての座席タイプで観光目的が約 4~6

注) 座席タイプ不明・無回答を除く

・ツアーバスと路線バスの認知度別シェア



・比較の有無別シェア



- 座席タイプのグレードが高くなるにつれて、高速ツアーバスの認知度が高くなっている。横2列では半数以上が高速ツアーバスと高速路線バスの違いを認識している。
- 高速ツアーバスを知っている利用者は、高速路線バスにない、グレードの高いサービスを受けるために、高速ツアーバスを選択していると考えられる。
- すべての座席タイプで、鉄道と比較して選択している利用者が約3~4割と多く、次いで、他モードとの比較をしていない高速ツアーバスのみ検討している利用者が約2~3割である。

#### 資料6

# 貸切バス事業者重点監査結果

取扱注意

平成23年3月31日現在

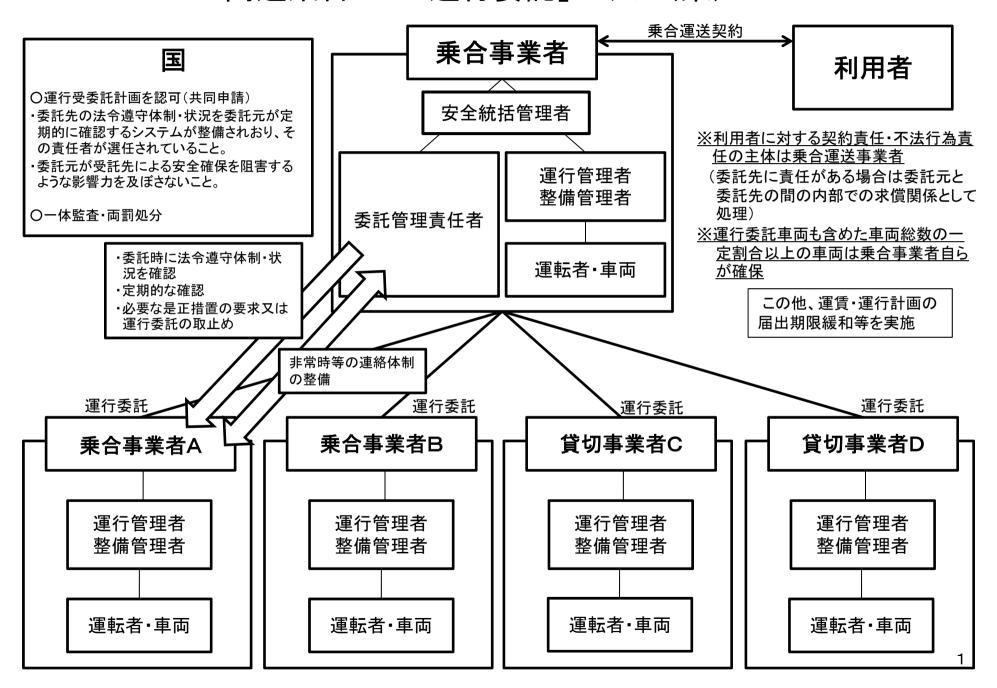
	監査実施	治ら右り		違反件数(違反があった事業者数)									
	事業者数	事業者数	乗務告示	健康状態	点呼	乗務記録	運行指示書	指導監督	社会保険	定期点検	車検切れ 運行	その他	その他の 内区域外
全 体	882	592	132	197	280	77	139	342	152	137	13	329	29
割合(%)		67.12	14.97	22.34	31.75	8.73	15.76	38.78	17.23	15.53	1.47	37.3	3.29
ツアーバス事業者	92	77	24	33	41	10	13	34	23	15	2	51	5
割合(%)		83.7	26.09	35.87	44.57	10.87	14.13	36.96	25	16.3	2.17	55.43	5.43
ツアーバス以外の 事業者	790	515	108	164	239	67	126	308	129	122	11	278	24
割合(%)		65.19	13.67	20.76	30.25	8.48	15.95	38.99	16.33	15.44	1.39	35.19	3.04

		全 体		,	ツアーバス		ツアーバス以外			
車両規模	事業者数	違反項目5項目以上 該当事業者数	比率(%)	事業者数	違反項目5項目以上 該当事業者数	比率(%)	事業者数	違反項目5項目以上 該当事業者数	比率(%)	
1 ~ 5	410	40	9.8	26	4	15.4	384	36	9.4	
6 ~ 1 0	268	54	20.1	38	7	18.4	230	47	20.4	
11 ~ 20	138	25	18.1	21	4	19.0	117	21	17.9	
21 ~ 50	57	6	10.5	7	2	28.6	50	4	8.0	
51~	9	1	11.1	0	0	0.0	9	1	11.1	
合 計	882	126	14.3	92	17	18.5	790	109	13.8	

違反有り事業者数及び違反件数は、処分確定に至っていない件数も含まれているため今後増減する可能性がある。 具体的には以下の場合が想定される。

- ・監査後の書類の精査によって違反事実が発覚し増加する場合
- ・事業者の弁明等により違反事実が消滅する場合
- ツアーバス事業者の違反件数は、ツアーバス運行に係るものに限らない。

# 高速乗合バス「運行委託」モデル(案)



## 委託先車両を活用した高速乗合バス事業の管理受委託制度(案)

#### <管理の受委託制度の緩和>

高速乗合バスの運行は、自ら使用権限を有する乗合車両の使用が原則。 管理の受委託制度もあるが、従来は、自社車両の運行管理、整備管理、運転を一括し て受託者に運行委託。

他社車両を用いて当該他社に一括運行委託し、自社の乗合事業の一部として 運行可。

#### 受委託の相手方

従来は、共同運行会社あるいは高速乗合バスを6ヶ月以上運行している事業者に限定。 乗合、貸切の別を問わない。

#### 受委託許可の対象

従来は、区間、系統またはダイヤ上のまとまった運行を継続的に委託。

季節波動や曜日波動などに対応して、委託車両数の上限の範囲で増発便などを随時運行委託可(委託が無い日もあり得る)。委託の相手方として事前に複数を選ぶことも可。

#### 受委託車両数の上限

従来は、系統の長さまたは使用車両数の1/2が受委託の上限。

高速乗合バス事業に用いる総車両数の「1/2を超える一定割合」まで委託車両数を緩和。

#### <安全規制の強化>

- (1) 国による許可基準
  - (1) 委託元が法令遵守状況など委託先の能力を委託時に審査すること
  - (2) 委託元が委託先の法令遵守状況について定期的な監査を行うこと
  - (3) 委託元が必要な是正措置を委託先に対して要求できる契約であること、
  - (4) 委託元と委託先の間に非常時の連絡体制が整備されていること 等

#### (2) 監査・処分

委託先とともに委託元も定期的監査の監督義務の履行状況等を一体監査。 委託先が受委託に関して法令遵守義務を果たしていない場合等は委託先・委託元の両 者を一体処分。

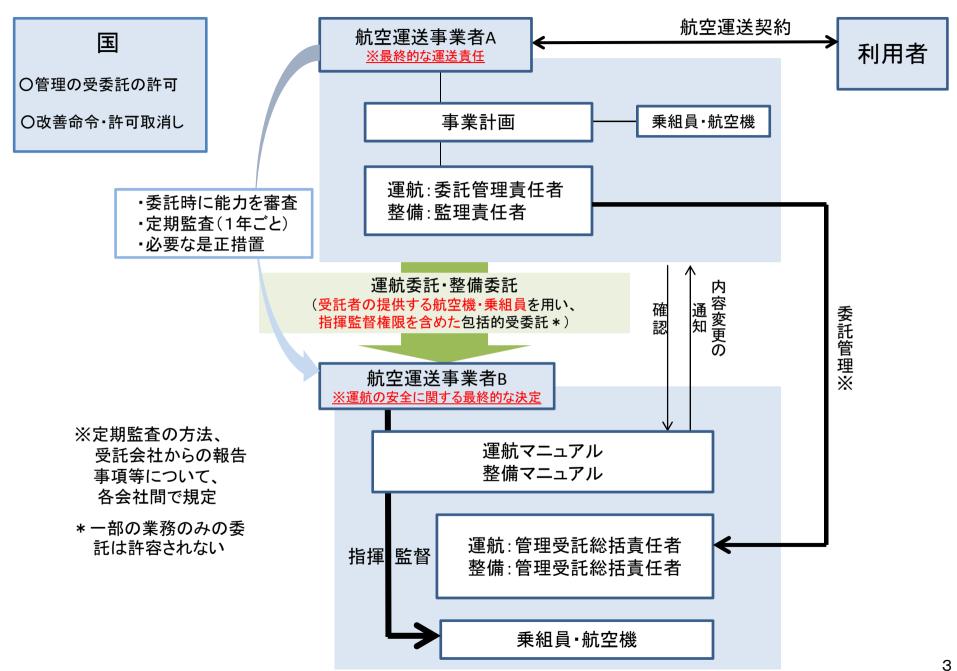
#### (3) 運輸安全マネジメントの適用

安全管理規程の制定や安全統括管理者の選任義務は200両以上の車両を有する旅客自動車運送事業者に限定。運行委託を行う高速乗合バス事業者は上記義務の対象に追加。

#### <その他>

今回の管理の受委託の制度緩和は、当面、高速乗合バスに限って適用。 市街地を運行する一般乗合バスについては、別途検討。

# 航空運送事業における管理の受委託



# バス事業のあり方検討会今後のスケジュール (案)

平成23年

5月27日(金) 第7回 ・ 報告書の審議